

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 ■自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「iPad で楽器を鳴らそう」		
	単元(題材)の目標	iPad の画面がある場所を探して画面に触れる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	5 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	・本児は全盲であるため、聴覚や触覚を頼りにして周囲の状況を判断している。興味がある素材には、触れ続けたり笑顔になったりすることがある。 ・手や足を動かして探索行動のような動きをしている様子が見られる。(特に仰臥位のと き)		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	ガレージバンド		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) ■学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 ■認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	・画面をタッチすると直ぐに音が出るため、児童が行動した時の結果が分かりやすい。 ・ICT を活用することで、自分で「もっと触れてみたい」という意欲や主体的な気持ち、動作につながるのではないかと考えられる。			
活用の状況と支援	活用の状況と支援 ○活用場面 自立活動、音楽 ○行った支援 ・仰臥位の状態で、よく動く左手側に iPad 画面を斜めにして、画面に触れやすいようにした。 ・座位保持椅子でやる場合は、テーブルに置き、始めに教師が児童の右手を iPad がある場所に触れさせてから行った。 ○児童の様子・変容 ・画面に触れると音が鳴るのがわかり、左手で画面を探しながら何度か触れる様子が見られ、時折笑顔も見られている。ある程度時間が経つと飽きるのか画面に触れなくなる様子も何度か見られている。 ・座位保持椅子の姿勢では、右手の力を上手に抜いて、腕を上下させ、画面に触れる様子が見られた。 ・楽器の音色を変えることで、飽きずに集中して iPad に触れている。 ・普段仰臥位になると、手を口元にもっていく様子が見られるが、iPad を置くことで、口ではなく iPad に手を触れるようになった。 ○改善点や次回に向けて ・1つのアプリだけでなく、組み合わせてやることで、もっと良い反応がみられるのではないかと考える。また、画面に触れて音を出すことで、友達とのコミュニケーションのきっかけになるような場面を増やしていきたい。			

